

# 若い世代も活躍中！！

高校生海女クラブ



久慈市観光物産協会が平成18年に北限の海女の後継者育成や高校生に久慈市の文化への理解を深めてもらいたいと設立しました。

平成26年にはメンバーの5人がアイドルグループ「あまくらぶ」として1年間限定で活動。

現在は久慈東高校の生徒を中心に、夏休みの期間、小袖地区での素潜り実演や観光客のおもてなしを行っています。

藤織ジュン（地域おこし協力隊）



東京都北区出身の25歳。平成27年に久慈市に移住し、海女の素潜り実演や各種イベントで久慈市のPR活動を行っている。

小袖海岸だけでなく久慈地下水族科学館もぐらんどでも素潜り実演を実施。今後は海女をしながら、プロダクションを起業し、メディア出演やイベント企画、お土産の開発などを行っていくことを目標としています。

ちびっこあまちゃん隊



久慈商工会議所が企画した「海女の衣装づくり講座」の受講者の子どもたちで組織。ロコミでメンバーが増え、現在は1歳～小学校6年生まで33人が登録しています。

久慈広域の各種イベントでの開会宣言や餅まき、「まめぶ音頭」の披露などで会場を盛り上げています。入隊希望者は久慈商工会議所までご連絡ください。☎久慈商工会議所 ☎52-1000

前田比奈（地域おこし協力隊）



千葉県茂原市出身の25歳。平成28年に久慈市に移住し、海女の素潜り実演や海女の後継者育成、海女文化の普及啓発を行っている。

「あまちゃん」を見て海女さんの仕事に興味を持ち、ほとんど泳ぐことができない状態から練習を重ねて今年の7月に海女デビュー。海女の後継者として、海女の素晴らしさを全国の若い人たちに伝えています。



## 「北限の海女」の今を知る

### 北限の海女の由来

「北限の海女」は小袖地域の海女さんの通称。素潜りで漁を行う海女さんの中で最も北の地域のためこの名前と呼ばれていると言われています。

この呼び名が広まったのは長内から小袖地区を結ぶ海岸道路が開通し、ラジオドラマ「北限の海女」が放送された昭和30年代と言われています。

### 観光海女と商業海女

小袖地区には、「観光」と「商業」の2種類の海女さんがいます。

観光海女は7月～9月までの間、素潜り実演を行い、観光客からの見学料を収入とする海女さんたちです。商業海女は夏期に数回ある「女のウニ採り」の時に漁を行い、採ったウニを売って収入とする海女さんたちで漁業権が必要です。2種類の海女を兼業する

人も、どちらか一方だけの人もいます。地域おこし協力隊や高校生海女クラブは漁業権がないので、観光海女として活動しています。

### 継続・継承のために

前述のとおり、多い時には100人以上いた北限の海女も現在は20人前後に減少しており、高齢化も進んでいます。海女だけで生計を立てるのは難しいことが大きな原因であると現役の海女さんたちは語ります。

「あまちゃん」効果で全国、そして世界的に有名になった「北限の海女」。「小袖全体の収入を増やし、小袖を住みやすい環境にすることが海女の継続には必要だ」と思います。と小袖の漁場をまとめる村塚繁好小袖漁業生産部長は話します。久慈の誇れる文化の一つである「北限の海女」を守り継承していくには、若い世代の力が不可欠。みんなで海女文化を守りましょう。